

令和7年度 第34回 千葉県高等学校女子サッカー選手権大会 要項

- 1 主催 (公社)千葉県サッカー協会 千葉県高等学校体育連盟
- 2 後援 千葉県教育委員会 (公財)千葉県スポーツ協会
- 3 主管 千葉県高等学校体育連盟サッカー専門部女子部
- 4 協賛 ダイハツ千葉販売株式会社
- 5 主旨 県下高校教育の健全な発達と高校スポーツの振興を図り、併せて令和7年度全日本高等学校女子サッカー選手権大会の代表選抜及び令和7年度関東高校女子サッカー選手権大会の代表選抜を行う。

6 実施要項

- (1) 期日 令和7年6月 1日 (日) 予選リーグ
6月 8日 (日) 予選リーグ
6月 14日 (土) 予選リーグ
9月 7日 (日) 決勝トーナメント①
9月 14日 (日) 決勝トーナメント②
9月 21日 (日) 準々決勝
9月 27日 (土) 準決勝
10月 12日 (日) 決勝・3位決定戦
(予備日) 6月 15日 (日)、9月 15日 (月)、10月 13日 (月)

(2) 会場 ・東総運動場、各高校会場他 (別紙組み合わせ参照)

(3) 競技内容及び方法

- ① 競技会実施年度の (公財) 日本サッカー協会サッカー競技規則により実施する。
- ② 登録人数は20名とし、うち5名までの交代を認める。
選手登録票に記入のうえ、試合当日大会本部に提出 (2部) すること。
- ③ 試合前のウォーミングアップ等で負傷等が発生した場合、試合開始前ならばスターティングメンバーを交代要員と変更できる。また負傷等で欠場となる選手の代わりに登録選手の中から交代要員を補充することができる。
- ④ 交代回数に関する制限については以下のとおりとする。
 - ・試合が延長戦に入った場合は、チームが認められたすべての交代要員を使い切っている、いないにかかわらず、さらに もう1人の交代要員を追加できる。
 - ・予選リーグ～決勝トーナメント2回戦は、交代して退いた競技者が交代要員となり再び出場することができる。

準々決勝以後は、

- ・交代して退いた競技者が、交代要員となり再び出場することはできない。
 - ・試合中の選手交代回数は、3回までとする (1回に複数人を交代することは可能)。
 - ・ハーフタイム、延長戦に入る前のインターバル及び延長戦のハーフタイムでの選手交代は交代回数に含まれない。
- ⑤ 脳震盪による交代に関しては以下のとおりとする。
 - ・脳震盪による交代について、1試合において各チーム最大1人の「脳震盪による交代」を使うことができる。
 - ・「脳震盪による交代」は、その前に何人の交代が行われているかにかかわらず行うことができる。
 - ・「脳震盪による交代」が使われたならば、相手チームは、(脳震盪に限らず) いかなる理由であっても「追加の交代要員1名1回」を使うことができる。
 - ⑥ 試合は、予選Aリーグと予選Bリーグを行う。Aリーグは総合体育大会のベスト8に進出した4チームで構成され、第5シードから第8シードまでを決定し、決勝トーナメントに進出する。Bリーグはそれ以外のチームで構成され、各ブロック4チームないし3チームで予選リーグを行い、各ブロック上位2チームが決勝トーナメントに進出する。その後、Aリーグの4チーム及びBリーグの各ブロック上位2チームの計12チーム、総合体育大会ベスト4の4チームを合わせた計16チームで決勝トーナメントを実施する。

⑦ 予選リーグの順位は、以下の順で決定する。

- ・勝ち点（勝利3点 引き分け1点 負け0点）
- ・得失点差
- ・総得点
- ・当該チーム同士の結果
- ・警告の数
- ・抽選

※途中棄権したチームの勝敗については全試合0-3の負けとする。

⑧ 競技時間は予選リーグ、および決勝トーナメント2回戦までは70分、準々決勝以後は80分とし、後半開始は前半終了10分後とする。

⑨ 決勝トーナメントにおいて70分もしくは80分以内に勝敗が決しない場合には、3分間の休憩ののち、20分間（前後半各10分）の延長戦を行う。延長戦で勝敗が決しない場合には、PK方式（各チーム5人ずつ、決着がつかない場合には6人目以降両チーム1人ずつ）にて次回戦進出チームを決める。PK方式の前のインターバルは約1分とする。天候、気温湿度等により、飲水タイムまたはクーリングブレイクのどちらか一方、もしくはその両方を、原則として前後半の途中にそれぞれ1回ずつ実施することができる。実施の有無、実施回数については、会場責任者と審判の協議の上、決定する。

⑩ 今大会において、退場を命じられた選手は、大会を問わず次の公式試合1試合に出場できず、それ以降の処置については、規律フェアプレー委員会で決定する。

⑪ 今大会において2回の累積警告を受けた選手は、今大会次の1試合の出場資格を失う。

⑫ 選手の用具は、以下の通りとする。

予選リーグ～決勝トーナメント2回戦は、

- ・1着以上のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参、着用しなければならない。(2着以上の持参が好ましい。)
- ・ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、主たる色が同系色であれば着用することができる(ビブス等も可)。
- ・ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。
- ・主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合においていずれのチームがビブス等を着用することを決定する。
- ・ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- ・アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- ・アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

準々決勝以後は、

- ・正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
- ・正・副の2色については明確に異なる色とする。
- ・主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- ・主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- ・キャプテンアームバンドについては、日本サッカー協会によって認められたアームバンドのみ着用が認められ、日本サッカー協会によって認められたアームバンドを着用する場合は日本サッカー協会ユニフォーム規程に準拠すること。(色・メーカーロゴは可。チーム名やスローガンは不可)

(4) 参加資格

- ① 千葉県高等学校体育連盟加盟校の生徒で、在学する学校長の承認を必要とする。
- ② 年齢は平成18年4月2日以降に生まれた者とする。
但し、同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回に限る。（「出場」とは登録やエントリーではなく、試合の出場回数をさし、専門部が責任を持って調整・確認する。）
- ③ 令和7年度協会加盟登録手続き完了チーム（選手）であること。
- ④ チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
但し、同一校に全日制課程と三部制定時制課程が併置され、日常的に全・定合同による部活動として位置づけられ活動している場合は、特例として県内大会に限り混成を認めることがある。
- ⑤ 転校（転籍）後6カ月未満の者は参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）但し、一家転居等やむを得ない場合は、千葉県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
- ⑥ 統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の2年前に限る合同チームによる参加を認める。
- ⑦ 部員不足等に伴う複数校合同チームの参加を認める。（専門部からの申請を受け、種目特性を考慮した「参加上の制約」を定め、参加を認める。）
- ⑧ 試合毎に提出される選手登録票に記載された生徒であること。
- ⑨ 試合に際しては選手証を必ず携行すること。（写真貼付の無いもの、記入漏れがあるものは無効とする。） ※選手証とは、(公財)日本サッカー協会のWEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またはスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。
- ⑩ 外国人留学生については、学校教育法第1条に規定する高等学校に卒業を目的として入学している生徒であり、年齢は、4月1日現在、19歳未満の者とする。（短期留学生は除く）人数制限は、登録4名のうち出場は2名とする。

(5) 参加費

予選リーグ5,000円、決勝トーナメント5,000円

(6) 参加申込と選手登録票

- ① 参加校は参加申込書（校長印を押印したもの）を5月10日（土）に女子部委員長へ提出すること。（PDFによる電子メールでの提出も可能）
- ② 参加校は、参加費を5月10日（土）までに会計担当委員へ支払うこと。
（支払いおよび提出のない場合は、参加を認めない。）

(7) 組み合わせおよびシード順

- ① 組み合わせ抽選は5月10日（土）の代表者会議で行う。
- ② シードについては令和7年度千葉県高等学校総合体育大会の成績（結果）を考慮する。

(8) その他

- ① 優勝校は本県代表として令和7年度第34回全日本高等学校女子サッカー選手権大会に出場し、第4位までを表彰（賞状授与）する。
- ② 第2位、及び第3位の2校は、令和7年度第34回関東高校女子サッカー選手権大会に出場する。
- ③ 本大会上位8校は、令和7年度千葉県高等学校新人体育大会へシードする。
- ④ 問題が生じた場合は、高体連サッカー専門部女子部で決定する。
- ⑤ 落雷等で競技が安全に継続できないと審判・本部が判断した時、1時間を限度に中断、待機する。
ア) 危険性がないと判断された場合は速やかに試合を再開する。
イ) 再開が不可能とされる場合、原則として、後日残り時間の消化により試合を成立させる。
施設面、安全管理面、日程面で別途日程にて残り時間の消化が不可能な場合、関係者の了解を前提に試合を成立させることまたは勝者を決定することができる。
- ウ) 後日試合が再開されることになっても、大会本部が関係両チームを交え協議し、中断前の結果により試合を成立させ、勝者を決定することができる。
- ⑥ 予選リーグより、テクニカルエリアを設置する。
- ⑦ 予選～決勝トーナメント2回戦は試合開始70分前に打ち合わせ、準々決勝以後はマッチミーティングを行う。選手登録票、ユニフォームチェックも同時に行う。

7 本大会参加校における個人情報および肖像権に関する取り扱いについて

(1) 参加校から提出される参加申込書に記載された個人情報

- ① 本大会のプログラム、印刷物へ掲載されることがある。
- ② 競技会場内でアナウンス等により紹介されることがある。
- ③ 競技会場内外の掲示板等に記載されることがある。

(2) 競技結果（記録）等の取り扱い

- ① 高等学校体育連盟サッカー専門部女子部の報道・記録係を通じて公開される。
- ② 認められた報道機関等により、新聞・雑誌及び関連ホームページ等で公開されることがある。
- ③ 大会プログラム掲載の個人情報とともに、高等学校体育連盟が作成するホームページ、(公社)千葉県サッカー協会が作成するホームページ等で公開され、また年報に掲載されることがある。
- ④ 優勝及び上位入賞結果（記録）等は、次年度以降のプログラムに掲載されることがある。

(3) 肖像権に関する取り扱い

- ① 認められた報道機関等が撮影した写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがある
- ② 認められた報道機関等が撮影した映像が中継または録画放映される場合がある。
また、DVD等に編集され、配布されることがある。
- ③ 千葉県高等学校体育連盟または(公社)千葉県サッカー協会の許可にもとづき、記念写真等が販売されることがある。

(4) 使用の確認

各チームで参加申込書・プログラムに掲載されるすべてのスタッフおよび選手（未成年の場合は保護者〔親権者〕）の意思を確認しておくこと。同意できない場合は、その旨を明記し(公社)千葉県サッカー協会女子委員会へ提出する。

(5) 取り扱い

- ① 前記使用目的以外には使用しないことを徹底し、第三者への情報提供は一切しない。
- ② 参加申込書・プログラム原稿・写真は、(公社)千葉県サッカー協会女子委員会が厳正なる管理のもとに保管する。
- ③ 参加申込書・プログラム原稿は大会終了2ヶ月後に処分する。